

## ■ 発刊にあたって

### ● 2,400 件の研究成果の登録有り難うございました

神戸大学学術成果リポジトリ、愛称 *Kernel* (かーねる) は、神戸大学における学術成果情報公開の窓口としての役割を果たすべく、7月からの試験公開を経て、10月2日に正式公開いたしました。これまでに登録いただきました件数は2,400件を超え、徐々にではありますが、今もその数をのばしております。ご理解ご協力をいただきました教員の方々には、ここに深く感謝申し上げます。



### ● 「Kernel 通信」をお届けします

さて *Kernel* が初期の目的をよりよく果たしていくには、今後も継続して研究成果を集積していく必要があります。附属図書館では、教員の方々により深くこの事業についてご理解いただくため「Kernel 通信」と題するニュースを発刊することといたしました。次のような内容をコンパクトにまとめてお届けいたします。

- ① 国内や海外におけるオープンアクセスに関する最新のレポート
- ② 事務局に寄せられたご意見やご質問など

ぜひお目通しくくださいますようお願いいたします。

### ● 学術情報で神戸大学の重厚な存在感を

図書館内では、朝早くからPCにかじりついている学生の姿を目にします。このような様子を見ていると、若い世代のインターネットへの依存度が年々高まっているように感じます。世の中にこのような人（ネット世代）が増えていくにつれ、情報をインターネット環境に置いて、だれもがアクセスできるようにすることは、今後ますます重要になっていくと思われまます。学術情報も決して例外ではありません。

このような状況はまた、新しい好機でもあります。*Kernel*を通じて積極的に情報を流していくことにより、日本に、そして世界に、教員の方々の、そして神戸大学の重厚な存在感を示していけるのではないのでしょうか。

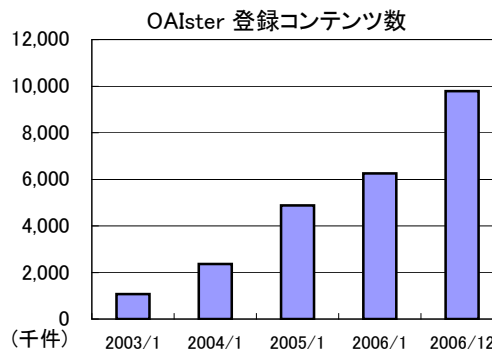
どうか引き続き、*Kernel*にご理解とご支援くださいますようお願いいたします。

## ■ 機関リポジトリレポート 2006年は日本のリポジトリ元年！

### ● 1,000万件突破！ データ件数をのばす世界の機関リポジトリ

機関リポジトリ等のオープンアーカイブは、順調に登録件数を伸ばしています。オープンアーカイブの代表的な統合検索サイトである OAIster(\*)では、登録件数が2006年11月時点で970万件に達しました。この1年では150%も増加しており、間もなく1,000万件を突破する勢いです。

(\*)<http://oaister.umdl.umich.edu/o/oaister/>



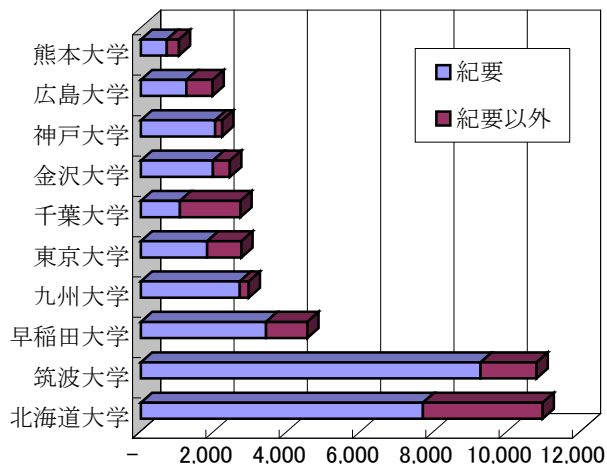
### ● 日本の機関リポジトリは23に

1年前、国内の機関リポジトリはわずかに3機関でしたが、現在は本学を含め23機関に増えました。国立大学法人と、比較的規模の大きい私立大学が中心になっています。国立情報学研究所の支援事業もあり、1年以内には50を超える見込みです。まさに2006年は、日本の機関リポジトリの元年になりました。

### ● 進む紀要の電子公開

日本の機関リポジトリに収集されているコンテンツについては、大学により様々な取り組みが行われていますが、共通する特徴は、**自身の大学で発行している紀要等を積極的に電子化して公開していこうという傾向が顕著に見られる**ことです。比較的著作権の処理がしやすいこと、大学や学部・学科の存在感を示す上で最適であることなどがその理由と思われる。

【表】国内主要機関リポジトリの収録数と紀要の占める割合



### ● 進まない国内学協会雑誌の許諾

その一方で、国内学協会が発行する雑誌の論文の公開は、学協会の許諾が進まず、難航しています。まだまだ、機関リポジトリに対する理解が浸透してないことが大きな要因のようです。

Kernel通信 第1号 平成19年2月1日発行

編集 : 神戸大学附属図書館 〒7657-8501 神戸市灘区六甲台1-1